



ふくびーだより



栃木市社会福祉協議会広報大使
ふっくん・ぴーちゃん

編集・発行 社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会 ホームページ <http://www.tochigishi-shakyo.or.jp/> メールアドレス: somu-tochigi@tochigishi-shakyo.or.jp

〒328-0027 栃木市今泉町2-1-40(栃木保健福祉センター内) ☎0282-22-4457 FAX 0282-22-4467

「平成27年9月関東・東北豪雨」により被災された方へ お見舞い申し上げます。

栃木市災害ボランティアセンターへのご支援・ご協力ありがとうございました。

9月9日(水)～10日(木)、栃木県内では約600ミリという大雨が降り、栃木市内各地で道路の冠水や床上・床下浸水などの被害が多く発生し、多くの市民の方が被害に遭われました。

そこで本会では、すでに栃木市と協定済みであった「災害ボランティアセンター設置等に関する協定」に基づき「栃木市災害ボランティアセンター」を設置し、9月12日(土)より被災された方々に対して、被害を受けた家屋等の片づけや泥だしなどのボランティア活動を開始しました。

栃木市災害ボランティアセンターは「災害ボランティア活動の支援に関する協定」に基づき、一般社団法人栃木青年会議所および特定非営利活動法人ハイジ(とちぎ市民活動推進センター)の協力を得て運営しました。なお、3者は平成23年度より「災害ボランティアコーディネーター養成講座」を毎年実施しておりスムーズな連携のもとボランティアセンターの設営を行うことができました。

栃木市災害ボランティアセンターは10月7日(水)より設置場所を、栃木市栃木保健福祉センターへ移転し活動支援を行いました。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 災害ボランティアセンターとは…? ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

災害ボランティアセンターとは

災害時に設置される被災地でのボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。近年では、被害の大きな災害に見舞われたほとんどの被災地に立ち上げられ運営されています。



災害ボランティアセンターの運営の担い手

一般的に、被災した地域の社会福祉協議会、日頃からボランティア活動に関わっている人たち、行政が協働して担うことが多いです。被災地外からの災害ボランティアセンター運営経験者が関わる場合もあります。



◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 災害ボランティアセンターの活動内容 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

【被災地のニーズの把握】

- ・家の片付け、避難所でのお手伝いなど、被災地の暮らしのニーズを収集します。
- ・地域の実情をよく知るリーダーの人たちなどを通じてニーズの収集を行うほか、チラシを配布したり、直接要望を聞いて回ります。



〈ボランティアセンターの様子〉

【ボランティアの受け入れ】

- ・災害ボランティアセンターを立ち上げた場所を、被災地内外に情報発信し、活動を希望するボランティアの受付を行います。
- ・ボランティア活動を希望する人は、まずは災害ボランティアセンターを訪れ、状況把握や活動の準備をすることになります。
- ・被災地外から来るボランティアバスの受け入れに係る便宜を図ります。

【人数調整・資機材の貸し出し】

- ・被災された人たちからのニーズにあわせて、必要なボランティアの人数などを調整します。
- ・活動のために道具が必要な場合、それらを準備して貸し出します。

【活動の実施】

- ・要望にあわせて、ボランティアが家屋や避難所などで活動します。

【報告・振り返り】

- ・活動結果、気がついたこと、住民からの要望などを報告し、その後の活動のために活かします。
- ・改善すべきことがあれば、センターを運営する人たちで話し合っ、対応を考えます。



〈左から市社会福祉協議会、栃木青年会議所、とちぎ市民活動推進センターくらら〉

栃木市災害ボランティアセンター概要

設置主体	社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会、一般社団法人 栃木青年会議所、NPO法人 ハイジ(とちぎ市民活動推進センターくらら)
主な運営協力	栃木県社会福祉協議会、栃木県内市町社会福祉協議会、とちぎボランティアネットワーク、にいがた災害ボランティアネットワーク、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議、栃木県共同募金会
場所	栃木市民会館 栃木市日ノ出町14-36 (10/7～ 栃木保健福祉センター)
活動範囲	栃木市内全域
活動内容	水害によって被害を受けた家屋内外の片づけ、泥出し、救援物資等の仕分け、避難所での傾聴活動



災害ボランティア活動の軌跡

全国からの温かい気持ち「栃木市」に集結！

災害ボランティアセンターの動き

(10月31日現在)

1	ニーズ受付数	228件
2	ボランティア派遣件数	432件
3	ボランティア数(実人員)	1,987人
		内訳
		市内の方 381人 県内の方(市外) 495人 県外の方 1,111人
4	ボランティア派遣人数(延人数)	3,384人

栃木市災害ボランティアセンターには、被災された方々が1日でも早く日常生活を取り戻すことを願い、全国各地よりたくさんの方々がボランティアさんをはじめ多くの企業や団体等が集結してくれました。遠いところでは東京、千葉、静岡、新潟、岩手、群馬、愛媛、大阪などから、またベトナムからの留学生たちの力もお借りすることができました。多くのご支援ご協力ありがとうございました。



活動後の資材の片づけ

毎朝のオリエンテーション



ボランティアセンター受付



復興への願いを込めて… 一致団結!!

高校生の活躍



感謝!!

泥だし



家財の運び出し



女性の活躍



床下の泥だし



ボランティア参加者の声 (アンケート抜粋)

○ボランティアをやるうと思ったきっかけ

- ・自分の住んでいる地域が被害に遭い大変だと思い、何か力になれたかった。
- ・神戸での震災でたくさんの方々のボランティアの方々に力になっていただいたから。

- ・被災された方々の1日でも早い「笑顔」を取り戻したかった。
- ・地元新潟が災害に遭った際にお世話になった恩返しがあった。

- ・栃木県民として地元の復興に手伝いがしたかった。

○感想

- ・依頼された方から感謝され、被災地のご苦労を実感し、支援継続の必要性を感じました。
- ・微力ながらも人のために支援できてよかった。災害の怖さを改めて感じました。

- ・思っていた以上に被害が大きく、テレビなどの情報では伝わらない現状に驚きました。
- ・被災者の方々の表情が明るく、逆に元気をいただきました。

- ・様々な方々と活動が出来て、同じ思いを持った仲間意識が強くなりました。



長年のご苦労に感謝
受賞おめでとうございます

8月27日(木)、宇都宮市文化会館で開催された「第21回 栃木県民福祉のつどい」において、社会福祉に功労のあった方々社会福祉事業に長年協力援助した方などの表彰が行われ、栃木市より次の方が受賞されました。

(敬称略・順不同)

栃木県知事表彰

中田日出夫 吉澤 一嘉 富田第4自治会なるのみ会
神山真佐子 関根 淑子 小平 静雄 間中キヨ子
茂呂加代子 新井 順子 金子美知子 川股 光子
福田 和江 石川加代子 池沢アエ子 石井 雅世
小倉 鋭子 つくし会 酒井 満 熊谷 勇志

栃木県社会福祉協議会 会長表彰

村田 弘子 浅井タキ子 鶴見美智子 町田爽起夫
白井 昌子 小倉 治雄 亀山 安子 白井キミ子
長 延 根本 猛雄 竹澤 克元 森戸 晶子
今関 勝 吉田 信一 石井 信一 山土家裕子
荒川 東二 松本恵美子 清水 信子 青木 房枝
見目 光子 大久保善之 八木美由紀 佐藤 和孝
山田恵美子 齋藤 正治 椿 真宏 鈴木 敦美
高野千恵子 川井 恵子 若菜 哲男 船田 弘和
船田 圭子 藤野 洋子 関口 晃代 大塚 里美
森戸 勇

(特非) 全日本車椅子ダンス協会

朗読ボランティア はなみずき

蔵の街たんぼの会とちぎおもちゃ図書館

栃木市朗読ボランティアの会「あかり」

五家英子とみんなで楽しく踊ろう会藤岡支部

栃木言友会

栃木県ひとり親家庭福祉連合会 会長表彰

堀内ひで子 阿部八重子

栃木県共同募金会 会長表彰

赤羽根千代子

栃木県身体障害者団体連絡協議会 会長表彰

丸山 宏

本所

「平成27年度介護講演会」
のお知らせ

日時 平成28年1月18日(月)
午後2時～午後3時30分
場所 栃木保健福祉センター
対象 どなたでも
内容 講演

「これからの地域福祉の課題」と民生委員の役割
「地域包括ケアと生活困窮者支援から考える」

講師 大石 剛史氏

(国際医療福祉大学医療福祉学部
医療福祉・マネジメント学科准教授)

定員 80名(先着順)

参加費 無料

問合せ/申込み

平成28年1月13日(水)までに
電話又は直接来所の上 本所
まで ☎2214457



都賀支所

特別配食サービス
ボランティア募集!

活動日 12月16日(水)

午前9時30分～午後5時

12月17日(木)

午前9時30分～午後5時

の2日間

内容 都賀地域の高齢者世帯に
配食します。
(活動時間等はご相談ください)

ご協力お願い申し上げます

問合せ/申込み

都賀支所まで ☎2810254

岩舟支所

☆みんなをクリスマスパーティー☆
障がい者余暇活動
支援事業 参加者募集



場所 岩舟健康福祉センター
遊楽々館
日時 12月12日(土)
午前10時～午後3時

地域での居場所づくりや心身のリフレッシュを図るための支援事業を行っています。
今回は、クッキング。みんなでデコレーションケーキを作ってみましょう。

対象 市内在住の各種障がい者

手帳をお持ちのおおむね

18歳以上の方とその親族

内容 ケーキ作りとビンゴ大会

持物 エプロン、三角巾

参加費 1,000円

交通手段 現地集合(岩舟地域在住の方のみ送迎可能)

定員 20名

問合せ/申込み

12月4日(金)までに
岩舟支所まで ☎5512438

岩舟支所

甘くておいしいいちごを楽しもう!!
親子ふれあいサロン
参加者募集

場所 いわふねフルーツパーク

日時 平成28年1月21日(木)

午前10時～午前11時30分

毎月1回、自宅では体験できない遊びや交流をおして、子育てを支援することを目的に開催しています。

対象 市内在住就園前の子どもとその保護者

定員 先着30組

内容 いちごつみ

参加費 大人500円

2歳以下無料

(そのほか年間参加費を

払っていない世帯は別途500円)

服装 汚れてもよい服装

問合せ/申込み

12月1日(火)～25日(金)までに
岩舟支所まで ☎5512438



ありがとう あたたかい善意

(平成27年8月～平成27年9月に本会へ寄付のあったものです) (敬称略)

社会福祉協議会へ

お菓子	佐藤正彦
-----	------

福祉基金へ

21,450	いすゞ自動車栃木工場「いすゞ栃木夏祭りチャリティバザー収益金として」
10,000	篤志家
6,300	大平町川連吉山坪元1班納税組合
6,000	つがや(第242、243回)
20,000	(株)ユサワ自動車(第191回、192回)
6,000	駒場地域社会福祉協議会 会長 中里幸雄(8/6、9/14)
50,000	理容組合栃木支部
117,076	J A しもつけふれあい感謝祭人形供養
28,916	石菊会 代表幹事 石塚英治、菊池昇、荒川和代、宮本稲子
16,950	J A しもつけ藤岡中央ホール
14,200	栃木市グラウンド・ゴルフ協会 会長 山中秀郎



各種相談事業のご案内

心配ごと相談所

○事業概要：相談員が、日常生活上の相談に応じます。

※秘密は厳守します。

開設場所	開設日	開設時間
栃木保健福祉センター	毎月第1火曜日	午前9:30～11:30
大平地域福祉センター(ふるさとふれあい館)	毎月第2火曜日	午前9:30～11:30
藤岡公民館(旧 藤岡福祉センター)	毎月第3火曜日	午前9:30～11:30
都賀老人憩いの家白寿荘	毎月第4火曜日	午前9:30～11:30
西方保健センター	毎月18日	午後1:00～3:00
岩舟健康福祉センター(遊楽々館)	毎月8日	午後1:30～3:30

※開設日については祝日及び12月29日～1月3日を除く

○サービスの内容：日常生活上のあらゆる心配ごとに対して、適切な助言・援助を行います。

○利用料金：無料

○お問合わせ：

本所	総務課生活支援係	☎22-4457	大平支所	地域支援係	☎43-0294
藤岡支所	地域支援係	☎62-5861	都賀支所	地域支援係	☎28-0254
西方支所	地域支援係	☎92-8080	岩舟支所	地域支援係	☎55-2438

法律相談(要予約)

開設場所	開設日	開設時間
大平地域福祉センター(ふるさとふれあい館)	毎月第1、3火曜日	午前9:00～12:00

○利用料金：無料

○お問合わせ：大平支所 地域支援係 ☎43-0294

こども発達相談

開設場所	開設日	開設時間
そのべ児童館	毎月第3金曜日	午後2:00～4:00

○利用料金：無料

○お問合わせ：そのべ児童館 ☎20-6231